

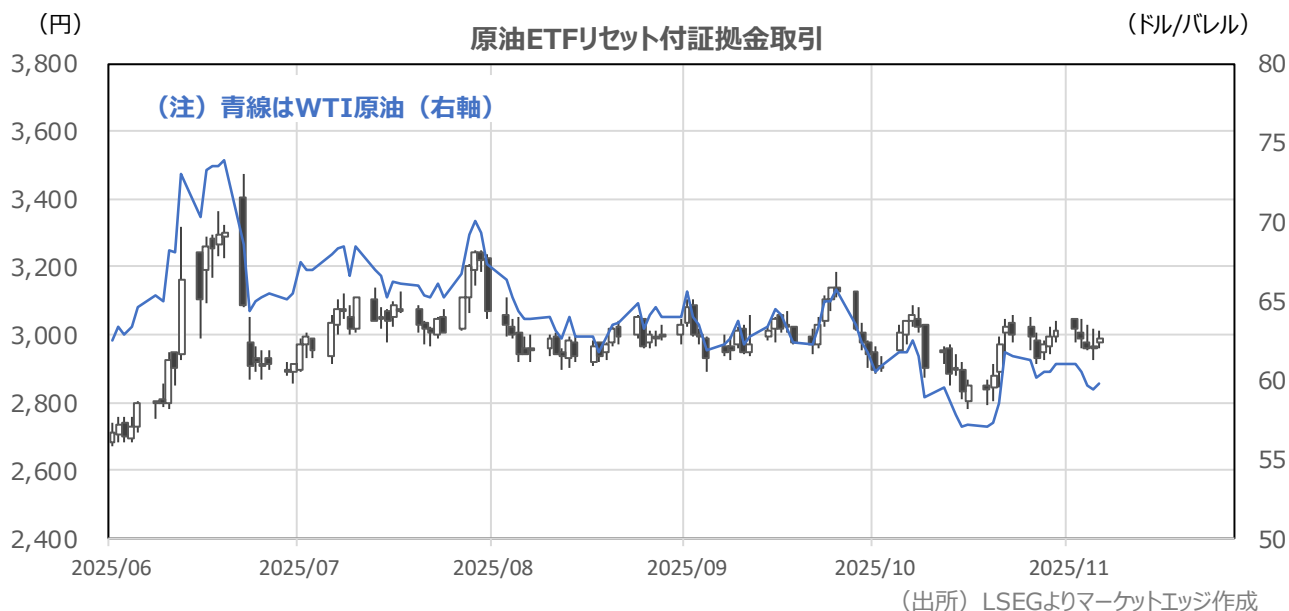
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/11/10号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



60ドル割れ、供給不安は高まらず

NY原油先物相場は、1バレル=60ドルの節目を挟んでじり安の展開となった。ロシア産の供給不安を手掛かりとした上昇は続かず、戻り売り優勢の展開になった。11月2日の石油輸出国機構（OPEC）プラス会合では、12月に日量13.7万バレルの減産縮小を行うことが合意される一方、来年1～3月期には季節要因から減産縮小を一時停止する予定が発表された。これを受けて原油相場は一時61.50ドルまで切り返したが、その後は週を通じて需給緩和見通しの織り込みが優勢になり、11月6日安値は58.83ドルになった。

米欧がロシア石油会社に対する制裁を発表したことで、ロシア産原油取引には混乱も報告されている。二次制裁のリスクから中国やインド、トルコなどがロシア産原油の取引を手控える動き、洋上原油在庫の急増も報告されている。一方で、制裁対象のロスネフチ、ルクオイル以外の石油会社からの調達に切り替える動きも報告されており、供給リスクのプレミアム加算は見送られている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月31日時点）は、原油が前週比520万バレル増、ガソリンが473万バレル減、石油精製品が64万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

60ドル割れ定着を打診する、IEA月報に注目

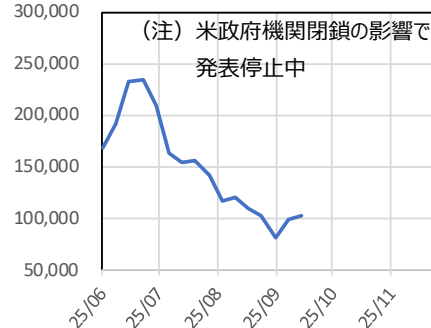
供給過剰見通しから戻り売り優勢の展開が続く見通し。ロシア産の供給環境が不安定化しているものの、国際原油需給の緩和見通しに修正を迫るほどの状況にはない。60ドルの節目を割り込んだが、更に水準を切り下げる展開が想定される。

今週は12日に石油輸出国機構（OPEC）、13日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を公表する。特にIEA月報は、大規模な供給過剰見通しを示したことが原油相場を圧迫する要因になる展開が過去2ヵ月連続でみられたため、イベントリスクとして注意が必要。ロシア産の供給障害でも供給過剰見通しに大きな変化が見られないことが確認されると、原油相場は下値を切り下げるリスクが高まる。60ドル割れ定着が進むきっかけになるのかが目玉される。

また、米連邦航空局（FAA）が11月7日から国内線の運航便数を段階的に最大10%削減する緊急命令を出したことに注目したい。米政府機関閉鎖の影響で安全面での懸念が高まったことへの対応だが、米国内のジェット燃料需要の落ち込みが警戒される。政府機関閉鎖の長期化、航空便のさらなる減便といった動きが広がると、需要サイドの要因で原油相場が下押しされるリスクが高まる。

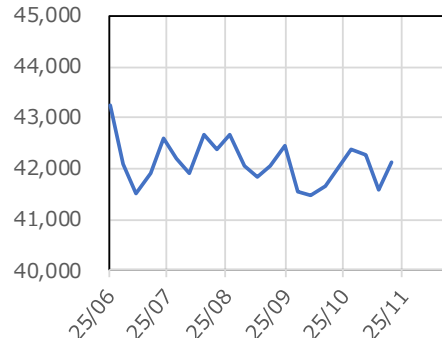
一方、ロシア産の供給環境については、依然として不確実性が高い。米欧の二次制裁に対する警戒感から、ロスネフチとルクオイルとの取引は手控える動きがみられる。現状では原油相場を大きく押し上げるほどの動きには発展していないが、米欧が追加制裁に踏み切る可能性もあり、供給不安の織り込み再開の可能性には注意が必要。まだ米欧の対露制裁がどの程度のインパクトを生じさせるのかは、不確実性が高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



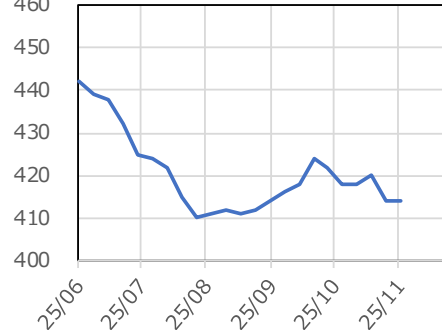
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

